

17. 家庭科教育

◎今年の討議の柱

- ①魅力的な授業実践例の紹介
- ②小中高の連携や評価について
- ③家庭科教育をとりまく課題

◎分科会アピール

グローバル化、少子高齢化、情報化、環境、自然災害、経済をめぐる不透明さ等、諸課題の深刻化・複雑化が進行する現在、持続可能な社会の構築等、今後の社会の急速な変化に主体的に対応する力が求められています。しかし、家庭科の単位数、時間数不足、教員の一人配置等により十分な指導が出来ずにいる状況があります。いずれ社会を牽引していく若者たちに、生きる力・生活を主体的に営む力を身につけさせる家庭科教育のあり方を考えていきましょう。

知識と技術の定着を図る授業や、指導と評価の一体化。多様化、変化、主体的といったキーワードを掲げつつ、現場での様子等実践例をあげながら討議をすすめます。今後の家庭科について考えていきましょう。

◎推進委員長

佐藤 公美 (大船渡東高校)

19. 保健教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①子どもたちの心とからだの健康について皆で考えよう
- ②保健室の実態や課題について考えよう
- ③養護教諭の職務の悩みや疑問について共有しよう

◎分科会アピール

参加した仲間が、普段感じていることや悩みなどを気兼ねなく発言でき、皆で考える場にしたと考えています。「参加してよかった。明日からがんばろう。」と、元気を持ち帰ることができるような、楽しい分科会になるように、推進委員全員で頑張りたいと思います。

◎推進委員長

菊池 文江 (福岡高校)

20. 障害児教育分科会

◎共同研究者、共同討議者紹介

共同研究者：東 信之さん (岩手大学)

◎今年の討議の柱

- ①インクルーシブ教育にむけた実践
- ②進路、卒業後の地域における自立生活を念頭においた実践
- ③職場課題

◎分科会アピール

様々なリポートを、参加者皆で討議しながら深めていくことができる分科会にしていきたいと考えています。

◎推進委員長

岩岡 恵太 (宮古恵風支援学校)

21. 芸術教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①観点別評価の状況について
- ②音楽・美術・書道間の相互理解、共通点について活かせること
- ③芸術教育の現状と課題

◎推進委員長

佐竹 茂 (一関第二高校)

花巻温泉のお風呂

【泉質】単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）pH:7.8
58.7℃（調査時における気温27℃ 天候：晴れ）
湧出量毎分251リットル

【特徴】刺激が少なく、透明・無味無臭。ご高齢者やお子様も安心して入浴いただけます。
湯あたりしづらく、体にやさしいお湯。弱アルカリ性泉は美肌効果があります。

【適応症】

関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え症、抹消循環障害、胃腸機能の低下、軽症高血圧、糖尿病、軽いコレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、ストレスによる諸症状、病後回復期、疲労回復、健康増進

* 宿泊のお客様は、館内通路でホテル千秋閣・ホテル花巻・ホテル紅葉館の大浴場を自由にご利用いただけます。